

草津市の障害者福祉の動向

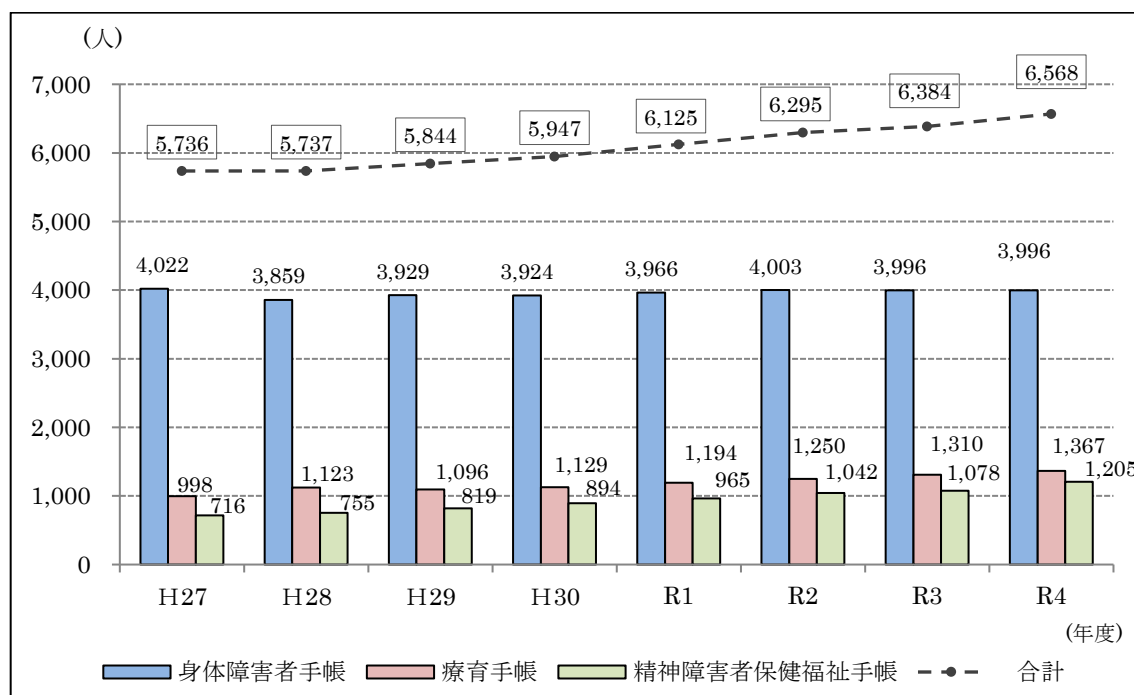
統計等による概況

1 障害者の数

◆手帳所持者数と実在住者数

(単位：人 %)

年度	草津市の人口 A	障害者手帳所持者数 B (a+b+c)	対人口比 B/A	身体障害者手帳 a	比率 a/A	療育手帳 b	比率 b/A	精神障害者保健福祉手帳 c	比率 c/A
H27年度	130,485	5,736	4.40	4,022	3.08	998	0.76	716	0.55
H28年度	131,846	5,737	4.35	3,859	2.93	1,123	0.85	755	0.57
H29年度	132,917	5,844	4.40	3,929	2.96	1,096	0.82	819	0.62
H30年度	134,224	5,947	4.43	3,924	2.92	1,129	0.84	894	0.67
R1年度	135,116	6,125	4.53	3,966	2.94	1,194	0.88	965	0.71
R2年度	136,254	6,295	4.62	4,003	2.94	1,250	0.92	1,042	0.76
R3年度	137,321	6,384	4.65	3,996	2.91	1,310	0.95	1,078	0.79
R4年度	138,600	6,568	4.74	3,996	2.88	1,367	0.99	1,205	0.87



草津市の手帳所持者の総数は、6,568 人であり、人口の 4.74% に相当します。約 22 人に 1 人が障害者であり、身体障害者 3,996 人、知的障害者 1,367 人、精神障害者 1,205 人となります。障害者数全体としては増加傾向となっています。

2 身体障害者の現状

① 障害等級別の身体障害者手帳所持者数の推移 (単位：人)

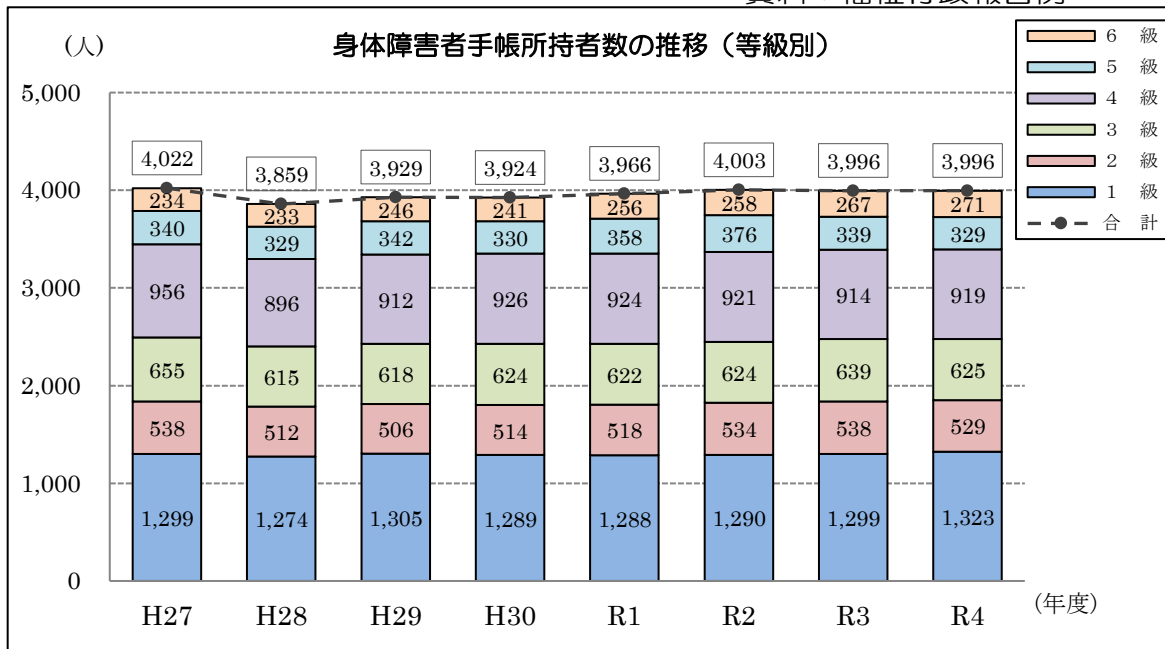
人 数	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
1 級	1,299	1,274	1,305	1,289	1,288	1,290	1,299	1,323
2 級	538	512	506	514	518	534	538	529
3 級	655	615	618	624	622	624	639	625
4 級	956	896	912	926	924	921	914	919
5 級	340	329	342	330	358	376	339	329
6 級	234	233	246	241	256	258	267	271
合 計	4,022	3,859	3,929	3,924	3,966	4,003	3,996	3,996
前年度増加率	1.06	0.96	1.02	1.00	1.01	1.01	1.00	1.00

(単位：%)

割 合	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
1 級	32.3	33.0	33.2	32.9	32.4	32.2	32.4	33.0
2 級	13.4	13.3	12.9	13.1	13.1	13.4	13.5	13.2
3 級	16.3	15.9	15.7	15.9	15.7	15.6	16.0	15.6
4 級	23.8	23.2	23.2	23.5	23.3	23.0	22.9	23.0
5 級	8.5	8.5	8.7	8.4	9.0	9.4	8.5	8.2
6 級	5.8	6.0	6.3	6.1	6.5	6.4	6.7	6.8
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1・2級の割合	45.7	46.3	46.1	45.9	45.5	45.6	45.9	45.9

(各年度末現在)

資料：福祉行政報告例



身体障害者の総数は前年度と比較すると同数となっておりますが、令和4年度では、身体障害者数全体の約46.2%（1,852人）が手帳1級・2級の重度障害者であり、前年度45.9%（1,837人）よりも増加しております。

②障害部位別の身体障害者手帳所持者数の推移

(単位：人)

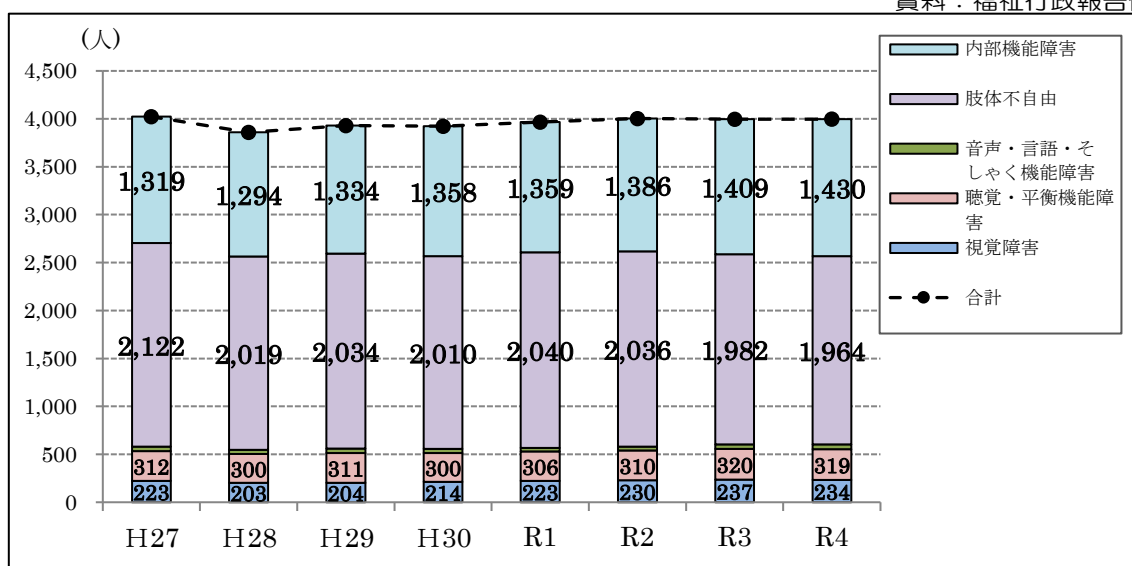
人数	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
視覚障害	223	203	204	214	223	230	237	234
聴覚・平衡機能障害	312	300	311	300	306	310	320	319
音声・言語・そしゃく機能障害	46	43	46	42	38	41	48	49
肢体不自由	2,122	2,019	2,034	2,010	2,040	2,036	1,982	1,964
心臓障害	736	718	744	747	761	772	797	822
腎臓障害	311	328	332	332	326	338	338	344
呼吸器障害	71	65	64	68	64	62	60	52
膀胱・直腸・免疫不全	187	170	180	196	193	200	200	200
肝臓障害(※1)	14	13	14	15	15	14	14	12
内部機能障害 小計	1,319	1,294	1,334	1,358	1,359	1,386	1,409	1,430
合計	4,022	3,859	3,929	3,924	3,966	4,003	3,996	3,996

(単位：%)

割合	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
視覚障害	5.5	5.3	5.2	5.5	5.6	5.8	5.9	5.9
聴覚・平衡機能障害	7.8	7.8	7.9	7.6	7.7	7.8	8.0	8.0
音声・言語・そしゃく機能障害	1.1	1.1	1.2	1.1	1.0	1.0	1.2	1.2
肢体不自由	52.8	52.3	51.8	51.2	51.4	50.9	49.6	49.1
心臓障害	18.3	18.6	18.9	19.0	19.2	19.3	19.9	20.6
腎臓障害	7.7	8.5	8.4	8.5	8.2	8.4	8.5	8.6
呼吸器障害	1.8	1.7	1.6	1.7	1.6	1.5	1.5	1.3
膀胱・直腸・免疫不全	4.6	4.4	4.6	5.0	4.9	5.0	5.0	5.0
肝臓障害(※1)	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3
内部機能障害 小計	32.8	33.5	34.0	34.6	34.3	34.6	35.3	35.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(各年度末現在)

資料：福祉行政報告例



令和4年度では、車いすや歩行器使用者等の肢体不自由が1,964人(49.2%)、内部機能障害のうちペースメーカーなどの心臓機能障害が822人(20.6%)、人工透析などの腎臓機能障害344人(8.6%)と続きます。近年の傾向としては、心臓機能障害、腎臓機能障害の占める割合が増加しています。

3 知的障害者の現状

◆総合判定別の療育手帳所持者数の推移

(単位：人)

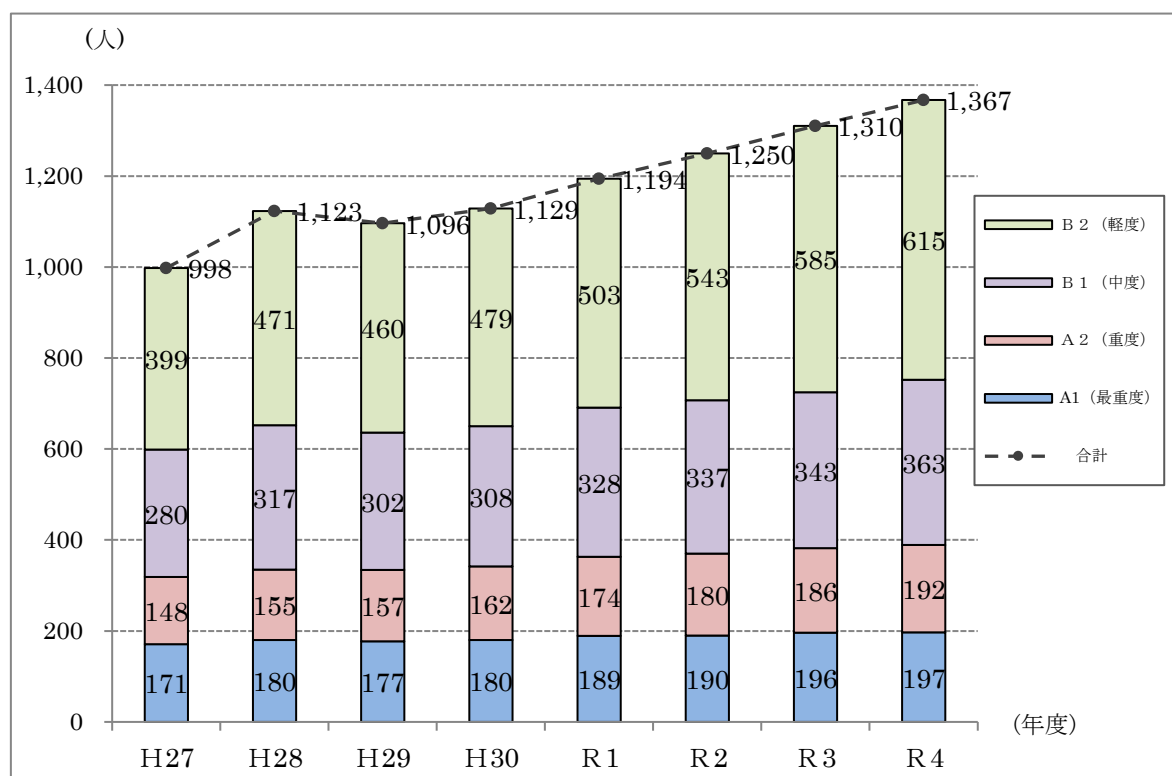
人数	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
A1 (最重度)	171	180	177	180	189	190	196	197
A2 (重度)	148	155	157	162	174	180	186	192
B1 (中度)	280	317	302	308	328	337	343	363
B2 (軽度)	399	471	460	479	503	543	585	615
合計	998	1,123	1,096	1,129	1,194	1,250	1,310	1,367
前年度増加率	1.07	1.13	0.98	1.03	1.06	1.05	1.10	1.09

(単位：%)

割合	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
A1 (最重度)	17.1	16.0	16.1	15.9	15.8	15.2	15.0	14.4
A2 (重度)	14.8	13.8	14.3	14.3	14.6	14.4	14.2	14.0
B1 (中度)	28.1	28.2	27.6	27.3	27.5	27.0	26.2	26.6
B2 (軽度)	40.0	41.9	42.0	42.4	42.1	43.4	44.6	44.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(各年度末現在)

資料：福祉行政報告例



知的障害者は平成29年度では若干減少していますが、平成30年度以降は増加しています。令和4年度では全体の約71.5%（928人）が手帳B1・B2の軽中度障害者となっています。特に手帳B2（軽度）の増加率が大きく、周知啓発や関係機関等において支援につなげる取り組みが進んでいるため、増加傾向になっているものと思われます。

4 精神障害者の現状

◆等級別の精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

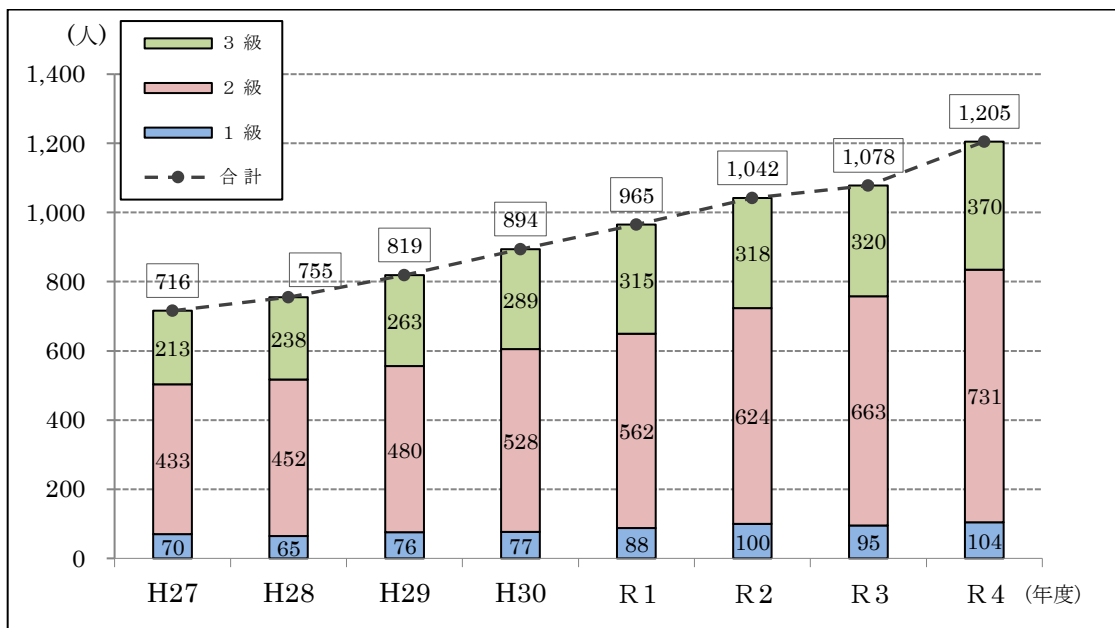
(単位：人)

人数	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
1 級	70	65	76	77	88	100	95	104
2 級	433	452	480	528	562	624	663	731
3 級	213	238	263	289	315	318	320	370
合 計	716	755	819	894	965	1,042	1,078	1,205
前年度増加率	1.11	1.05	1.08	1.09	1.08	1.08	1.12	1.16

(単位：％)

割合	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
1 級	9.8	8.6	9.3	8.6	9.1	9.6	8.8	8.6
2 級	60.5	59.9	58.6	59.1	58.2	59.9	61.5	60.7
3 級	29.7	31.5	32.1	32.3	32.7	30.5	29.7	30.7
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(各年度末現在)



精神障害者は毎年増加しております。等級別の増減としては、手帳2・3級が特に増加しています。全体の約69％（835人）が手帳1級・2級の重度障害者となっています。

5 年齢階層別手帳所持者数

①身体障害者手帳所持者数（年齢階層別）

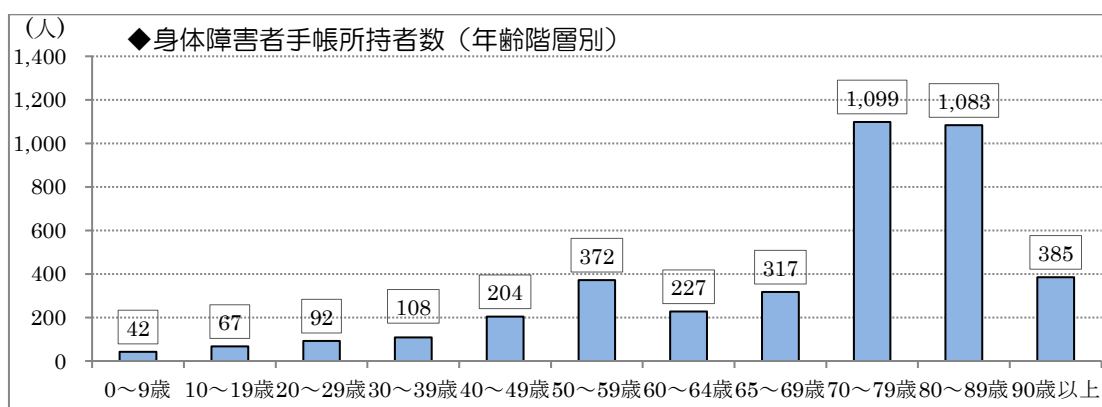
（単位：人）

区分	等級別						計	※障害部位別				
	1級	2級	3級	4級	5級	6級		視覚	聴/平	音言そ	肢体	内部
0～9歳	31	2	7	0	0	2	42	1	5	0	28	8
10～19歳	32	14	7	10	2	2	67	3	7	1	45	11
20～29歳	41	18	17	12	2	2	92	7	12	2	50	21
30～39歳	51	16	10	20	6	5	108	4	11	5	51	37
40～49歳	73	38	27	32	19	15	204	7	23	2	96	76
50～59歳	116	65	60	69	38	24	372	23	28	4	214	103
60～64歳	83	42	17	48	27	10	227	14	16	2	123	72
65～69歳	109	45	40	71	38	14	317	22	15	5	163	112
70～79歳	345	139	182	259	101	73	1,099	72	49	11	563	404
80～89歳	337	106	188	289	74	89	1,083	62	95	16	472	438
90歳以上	106	42	76	106	22	33	385	19	58	1	159	148
合計	1,324	527	631	916	329	269	3,996	234	319	49	1,964	1,430
うち65歳未満	427	195	145	191	94	60	1,112	59	102	16	607	328
うち65歳以上	897	332	486	725	235	209	2,884	175	217	33	1,357	1,102
65歳未満の割合	32.3%	37.0%	23.0%	20.9%	28.6%	22.3%	27.8%	25.2%	32.0%	32.7%	30.9%	22.9%
65歳以上の割合	67.7%	63.0%	77.0%	79.1%	71.4%	77.7%	72.2%	74.8%	68.0%	67.3%	69.1%	77.1%

資料：福祉行政報告例・障害福祉課調べ

※ 障害部位について、「視覚」は視覚障害、「聴/平」は聴覚・平衡機能障害、「音言そ」は音声・言語・そしゃく機能障害、「肢体」は肢体不自由、「内部」は内部機能障害をそれぞれ表します。

また、集計にあたり各種障害部位を併せ持つ（重複している）方については、代表的な障害部位で計上しています。



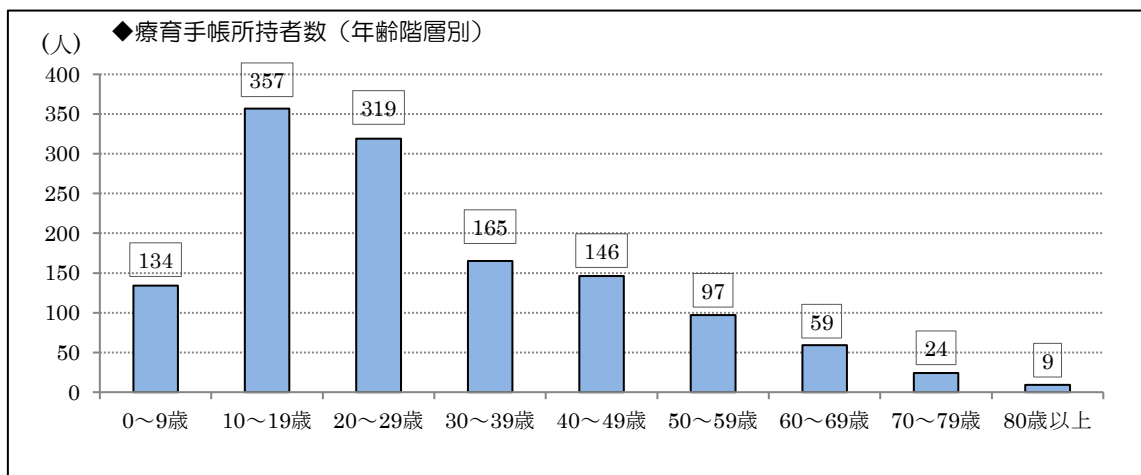
65歳以上が全体の72.2%（2,884人）を占めており、障害者の高齢化や加齢に伴う手帳取得が進んでいます。障害部位別の年齢階層別をみると、特に70歳以上の肢体不自由ならびに内部障害がとりわけ高い数値となっています。

②療育手帳所持者数（年齢階層別）

（単位：人）

区分	A 1	A 2	B 1	B 2	計
0～9歳	18	21	27	79	145
10～19歳	45	50	82	192	369
20～29歳	46	42	103	138	329
30～39歳	33	31	47	64	175
40～49歳	22	21	43	58	144
50～59歳	17	15	31	43	106
60～69歳	10	9	19	26	64
70～79歳	4	3	8	10	25
80歳以上	2	2	3	3	10
合計	197	194	363	613	1,367

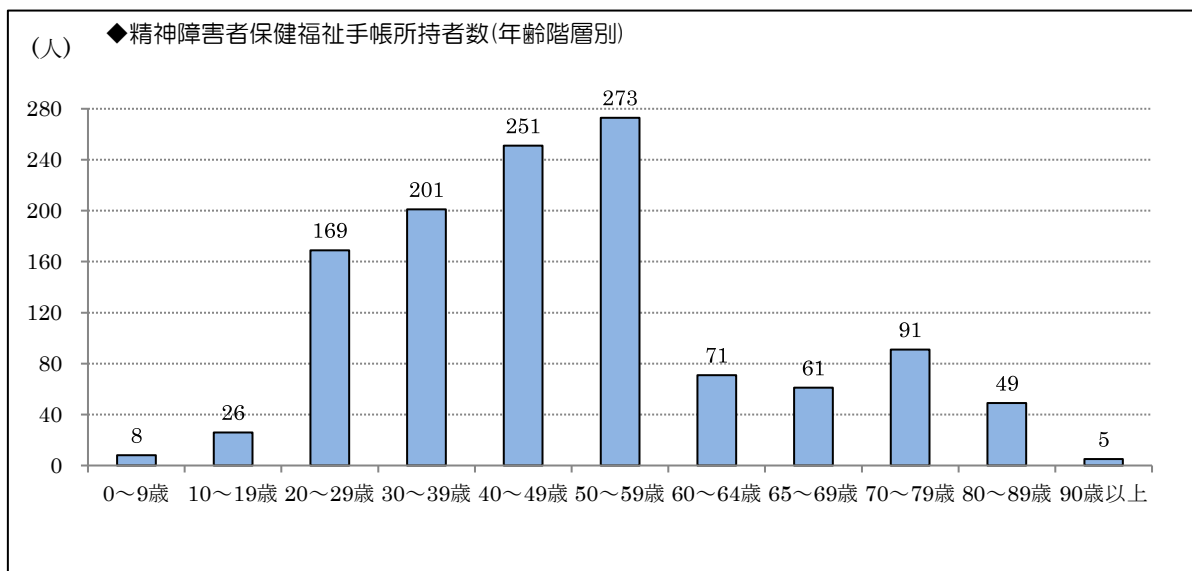
資料：福祉行政報告例・障害福祉課調べ



20歳未満が全体の約38%（514人）を占めています。平成29年度461人、平成30年度459人、令和元年度462人、令和2年度474人、令和3年度491人、令和4年度514人と年々増加しており、早期療育等の取り組みのなかで若年層の手帳取得が増えているものと思われます。また、10～19歳で特に多い理由は、就職活動などにおいて手帳の利用ニーズが高まることが一因だと思われます。

③精神障害者保健福祉手帳所持者数（年齢階層別）（単位：人）

区分	1 級	2 級	3 級	計
0～9歳	0	5	3	8
10～19歳	0	20	6	26
20～29歳	6	95	68	169
30～39歳	4	120	77	201
40～49歳	10	162	79	251
50～59歳	16	171	86	273
60～64歳	10	36	25	71
65～69歳	8	39	14	61
70～79歳	25	57	9	91
80～89歳	24	22	3	49
90歳以上	1	4	0	5
合計	104	731	370	1205



20歳以上から59歳までの所持者数が全体の約74%（894人）を占めており、特に40歳代から50歳代の所持者が多くなっています。

6 障害支援区分の認定

◆障害支援区分認定者数の推移

(単位：人)

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
区分1	32	31	27	21	20	18	18
身体障害者	2	3	3	3	3	3	2
知的障害者	17	17	17	10	11	12	12
精神障害者	13	11	7	8	6	3	4
区分2	137	147	141	159	148	137	159
身体障害者	15	16	17	19	12	10	18
知的障害者	61	72	68	62	56	51	55
精神障害者	61	59	56	78	80	76	86
区分3	81	93	97	106	118	136	157
身体障害者	15	15	13	13	11	12	13
知的障害者	52	52	51	55	72	80	87
精神障害者	14	26	33	38	35	44	57
区分4	63	75	79	77	86	98	107
身体障害者	11	13	14	16	14	14	15
知的障害者	42	45	48	45	55	63	68
精神障害者	10	17	17	16	17	21	24
区分5	60	60	60	70	62	70	74
身体障害者	15	15	14	22	21	18	23
知的障害者	43	44	43	44	39	46	45
精神障害者	2	1	3	4	2	6	6
区分6	117	120	128	126	137	148	152
身体障害者	31	33	31	32	59	64	69
知的障害者	85	86	96	93	78	84	80
精神障害者	1	1	1	1	0	0	3
合計	490	526	532	559	571	607	667
身体障害者	89	95	92	105	120	121	140
知的障害者	300	316	323	309	311	336	347
精神障害者	101	115	117	145	140	150	180
割合(%)	100	100	100	100	100	100	100
身体障害者	18.16	18.06	17.29	18.78	21.01	19.93	20.99
知的障害者	61.23	60.08	60.72	55.28	54.47	55.35	52.02
精神障害者	20.61	21.86	21.99	25.94	24.52	24.71	26.99

(各年度末現在)

※ 障害程度区分の認定は18才以上の障害のある人を対象としています。

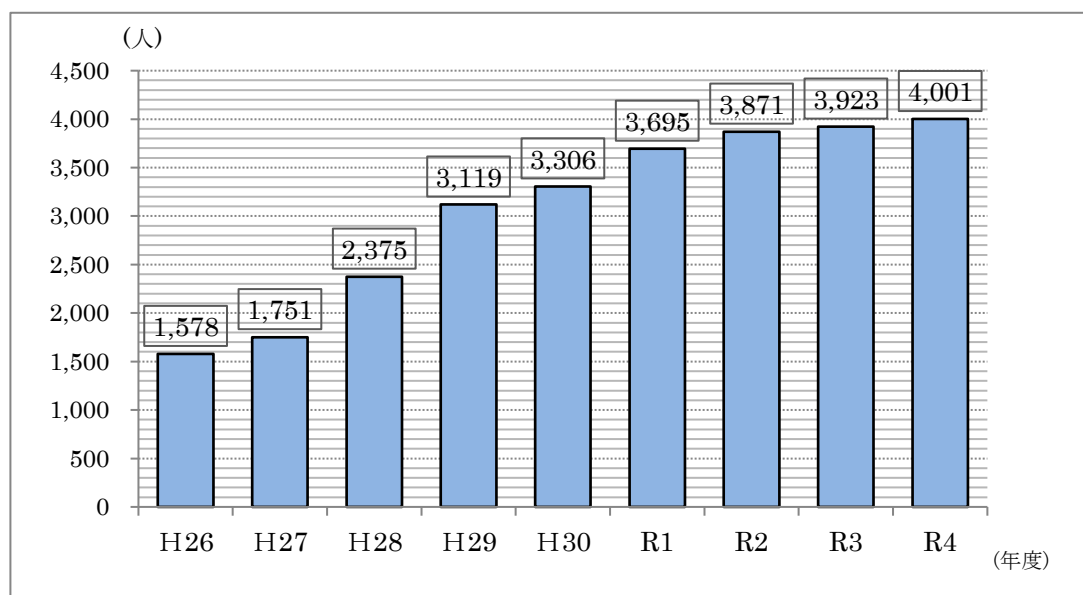
※ 平成26年4月から、障害程度区分は障害支援区分となりました。

障害支援区分認定者数全体としては、近年増加しており、精神障害者の割合が年々増加しております。区分6の重度の認定が増加している一方、区分1の軽度の認定は減少しています。

7 医療・保健の概況

①自立支援医療

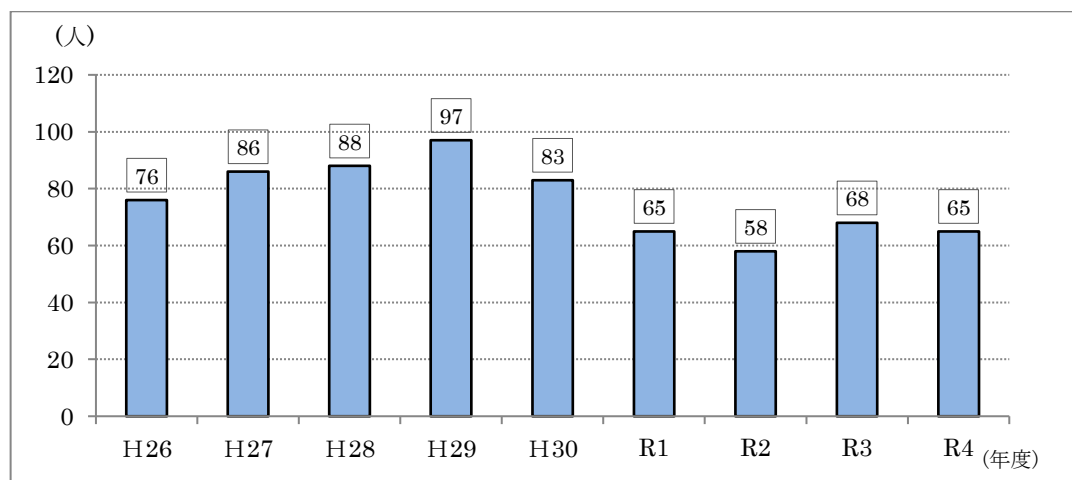
◆更生医療



(各年度末現在)
資料：福祉行政報告例

加齢等に伴う身体障害者数の増加により、利用者が増えています。人工透析、ペースメーカー埋め込み術、人工関節施行術などが該当しますが、特に人工透析は対象となる方が増えています。

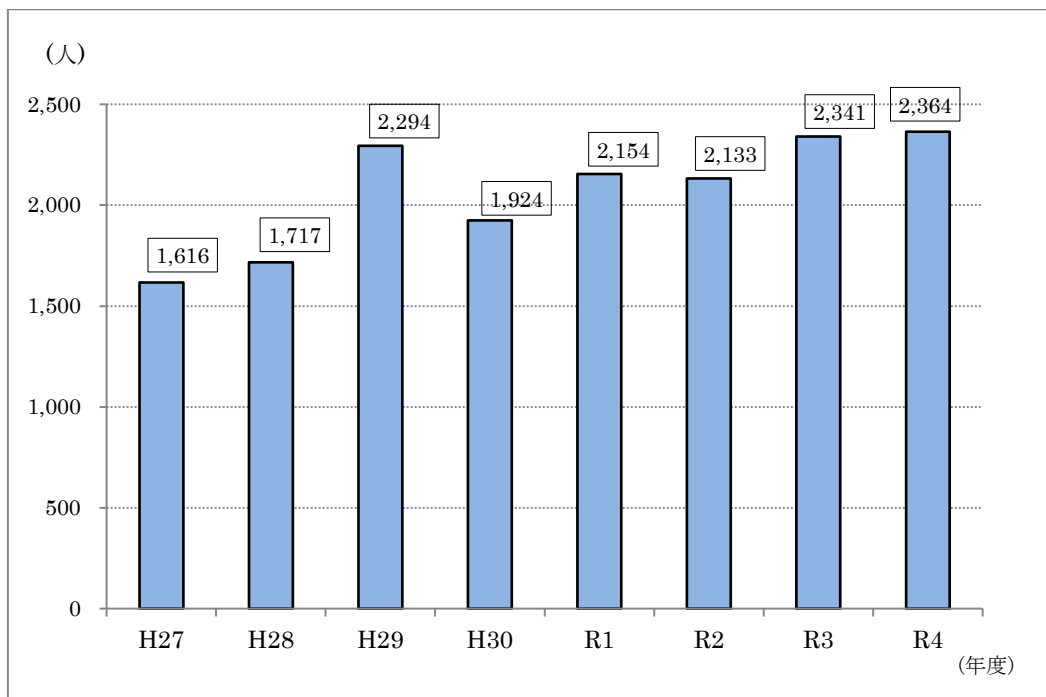
◆育成医療



(各年度末現在)
資料：福祉行政報告例

平成29年度から令和2年度までは減少傾向にあり、令和3年度に増加したものの令和4年度は減少となりました。

◆精神通院医療



(各年度末現在)

資料：障害福祉課調べ

平成26年度から平成29年度までは増加し、平成30年度は減少していますが、その後は徐々に増加しています。

②精神保健対策

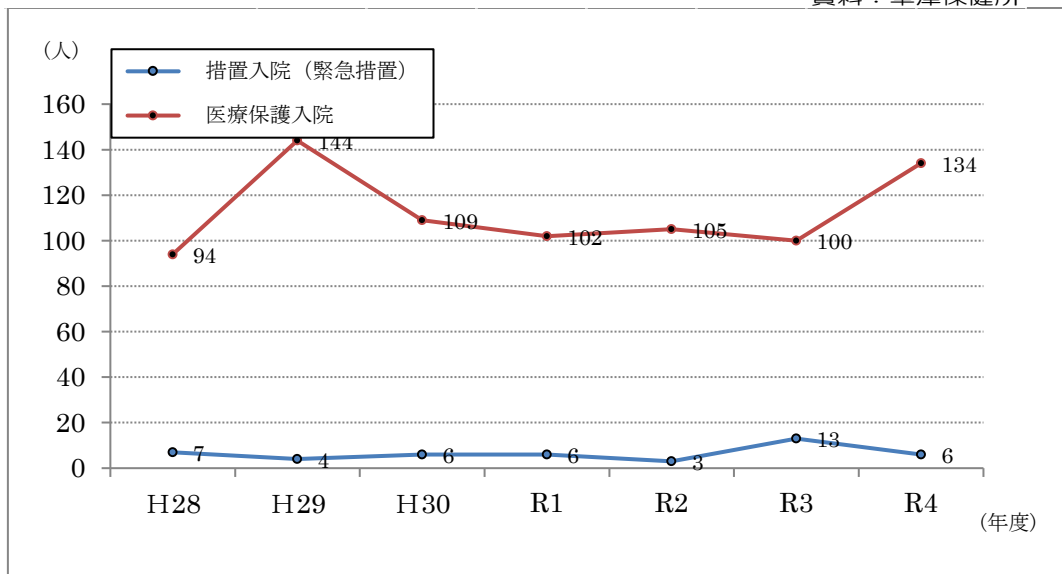
■入院患者数の推移

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
措置入院(緊急措置)	7	4	6	6	3	13	6
医療保護入院	94	144	109	102	105	100	134

(各年度末現在)

資料：草津保健所



措置入院については、横ばいで推移していましたが、令和3年度に13人と増加しましたが令和4年度は減少しました。医療保護入院については、ほぼ横ばいで推移していましたが、令和4年度に増加いたしました。

第2節 障害等のある幼児・児童・生徒の推移等

1 就学前児童の状況

①保育所、認定こども園（保育認定）における障害児保育（単位：園 人 %）

年度 項目		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
公立	園数	7	6	8	11	12	13	13
	園児 人	686	594	661	690	677	646	642
	加配対象園児 人	43	45	69	63	60	72	78
	対比 %	6.3	7.6	10.4	9.1	8.9	11.1	12.1
私立	園数	17	19	21	24	28	28	28
	園児 人	2,694	2,813	2,832	3,013	3,206	3,259	3,342
	加配対象園児 人	51	64	62	62	72	89	87
	対比 %	1.9	2.3	2.2	2.1	2.2	2.7	2.6
合計	園数	24	25	29	35	40	41	41
	園児 人	3,380	3,407	3,493	3,703	3,883	3,905	3,984
	加配対象園児 人	94	109	131	125	132	161	165
	対比 %	2.8	3.2	3.8	3.4	3.4	4.1	4.1

（各年5月1日現在）

資料：幼児課

※ 令和元年度から志津と山田の公立幼稚園が認定こども園化されたことに伴い、公立の加配対象園児が増加しています。ただし、認定こども園の園児数については保育認定対象を上記の障害児保育で、教育認定対象を下記の障害児教育で計上しています。

②幼稚園（公立のみ）、認定こども園（教育認定）における障害児教育（単位：園 人 %）

年度 項目		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
公立	園数	11	10	10	10	10	10	10
	園児 人	820	722	733	723	640	580	548
	加配対象園児 人	53	49	31	67	60	53	64
	対比 %	6.5	6.8	4.2	9.3	9.4	9.1	11.7
私立	園数	1	5	10	13	17	17	17
	園児 人	108	207	385	363	383	383	381
	加配対象園児 人	1	3	9	10	7	12	19
	対比 %	0.9	1.4	2.3	2.8	1.8	3.1	5.0
合計	園数	12	15	20	23	27	27	27
	園児 人	928	929	1,118	1,086	1,023	963	929
	加配対象園児 人	54	52	40	77	67	65	83
	対比 %	5.8	5.6	3.6	7.1	6.5	6.7	8.9

保育所、保育認定の認定こども園の加配対象児については、令和5年度は165人であり、約24人に1人の割合となっています。公立幼稚園、教育認定の認定こども園の加配対象児については、令和5年度は83人であり、約11人に1人の割合となっています。

2 学校教育の状況

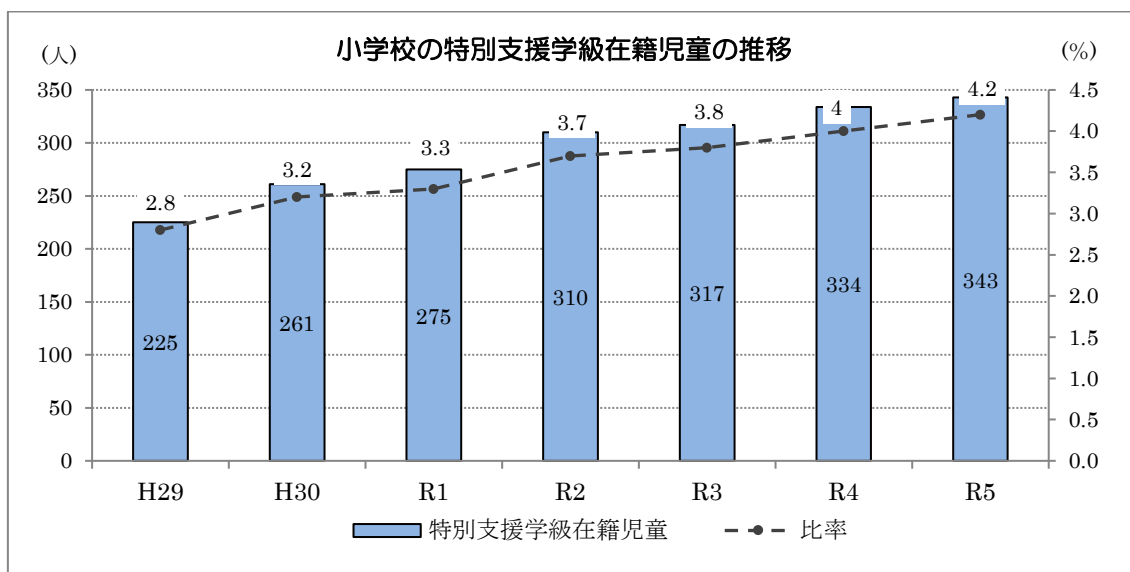
①公立小学校の特別支援教育

(単位：CL 人 %)

年度項目	年	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
実学級	CL	314	326	333	335	337	338	343
特別支援学級	CL	52	55	61	60	64	63	68
児童	人	7,964	8,179	8,282	8,367	8,382	8,408	8,398
普通学級在籍児童	人	7,739	7,918	8,007	8,057	8,065	8,074	8,046
特別支援学級在籍児童	人	225	261	275	310	317	334	352
対比	%	2.8	3.2	3.3	3.7	3.8	4.0	4.2

(各年5月1日現在)

資料：児童生徒支援課



特別支援学級在籍児童については、年々増加傾向にあります。令和5年度は343人であり、約25人に1人の割合となっています。

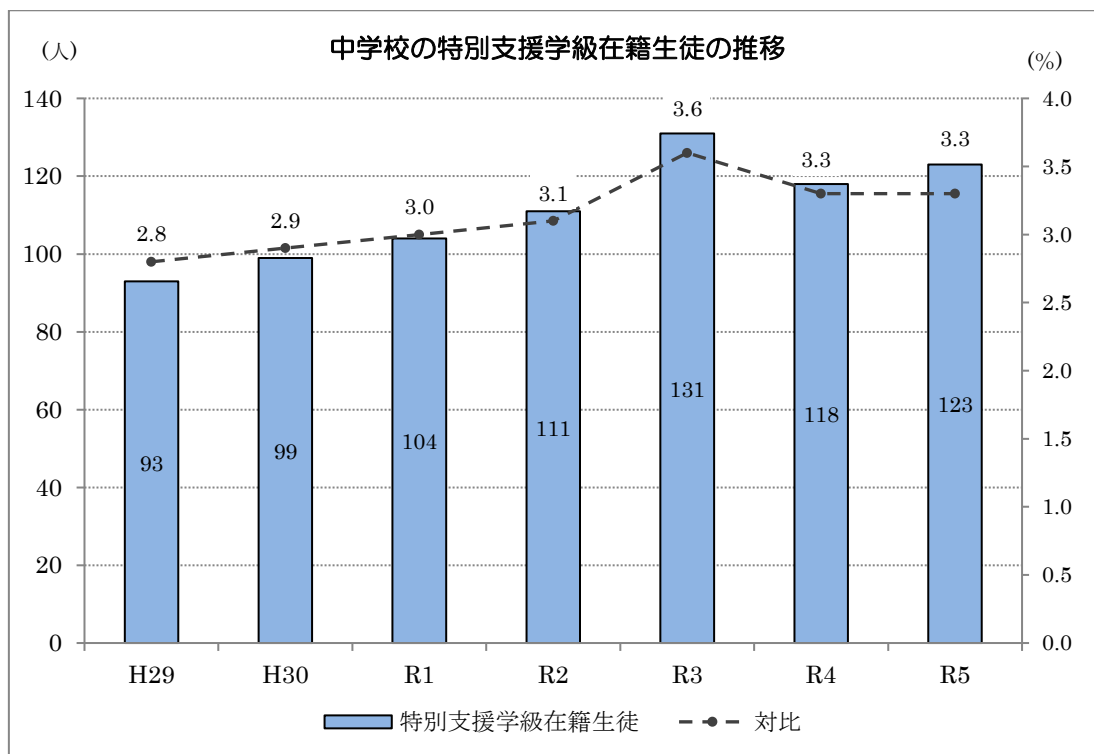
②公立中学校の特別支援教育

(単位：CL 人 %)

年度項目 \ 年		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
実学級	CL	122	120	125	130	132	134	128
特別支援学級	CL	19	17	20	22	24	23	25
生徒	人	3,380	3,363	3,468	3,526	3,615	3,627	3,684
特別支援学級在籍生徒	人	93	99	104	111	131	118	123
対比	%	2.8	2.9	3.0	3.1	3.6	3.3	3.3

(各年5月1日現在)

資料：児童生徒支援課



特別支援学級在籍生徒については、年々増加傾向にありましたが、令和4年度は減少しましたが、令和5年度は123人と再び増加しました。

割合としては、約31人に1人となっています。

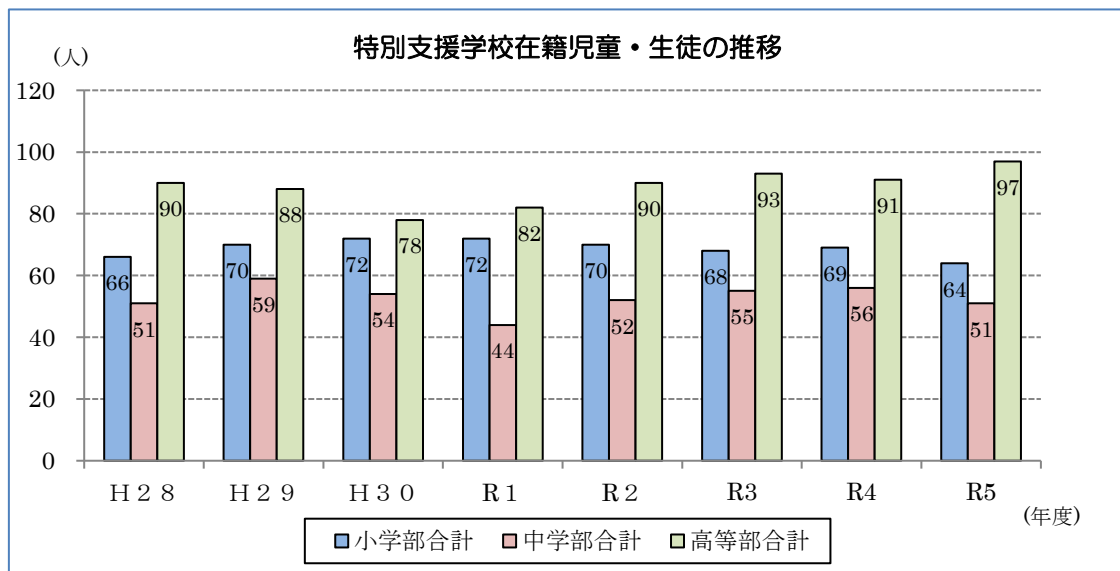
3 特別支援学校の児童・生徒

(単位 人)

区分	学校	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
小学部	滋賀県立盲学校		1	1	1	1	0	0	1	1
	滋賀県立聾話学校		4	2	3	2	2	2	2	2
	滋賀県立草津養護学校		61	67	68	69	67	66	66	61
	滋賀県立三雲養護学校		0	0	0	0	0	0	0	0
	滋賀大学附属特別支援学校						1	0	0	0
	合計		66	70	72	72	70	68	69	64
中学部	滋賀県立盲学校		0	0	0	0	1	1	1	0
	滋賀県立聾話学校		2	1	1	1	1	1	1	0
	滋賀県立草津養護学校		46	57	52	42	42	46	47	48
	滋賀県立三雲養護学校		3	1	1	1	3	3	4	2
	滋賀大学附属特別支援学校						5	4	3	1
	合計		51	59	54	44	52	55	56	51
高等部	滋賀県立盲学校		0	1	1	0	0	0	0	1
	滋賀県立聾話学校		1	2	2	1	1	1	1	0
	滋賀県立草津養護学校		66	60	54	56	68	65	60	63
	滋賀県立甲南高等養護学校		3	4	4	6	7	12	11	8
	滋賀県立三雲養護学校		14	12	7	5	11	12	15	20
	滋賀大学附属特別支援学校		6	9	10	14	3	3	4	5
	合計		90	88	78	82	90	93	91	97

(各年5月1日現在) (各年5月1日現在)

資料：障害福祉課調べ 料：障害福祉課調べ



特別支援学校在籍児童・生徒については、年々増加傾向にありましたが、令和5年度は、減少しました。